

東北電力と災害時の協定を締結 電力復旧作業に相互協力

2月3日、町と東北電力(株)宮古営業所(外館忠一^{とだてちゅういち}所長)による災害時電力復旧協定の調印式が行われました。式では沼崎喜一町長と外館所長が協定書に調印し、沼崎町長は「災害時におけるライフラインの確保は行政にとって最重要課題。今後も協議しながら最善策を講じていきたい」、外館所長は「互いの役割を確認しながら継続して住民の命と安全を守る電力の設備でありたい」とあいさつしました。この協定は、災害が発生したときの電力復旧作業における2者の役割と協力体制について定めたもので、同営業所では宮古市や岩泉町など宮古管内の市町村とも同様の協定を結んでいます。



和やかな雰囲気で行われた収録の様子(上写真) / ゲスト出演のダニエル・カールさんから「ふるさと豊かな心賞」のトロフィーが贈られました



東北ふるさとCMフェスティバル 本町作品が岩手代表で参加

2月4日、東北ふるさとCMフェスティバル2009の収録が仙台市で行われ、本町の作品「かきくけこ？」が岩手県代表として参加しました。これは、東北6県で開催されたふるさとCMの最優秀作品を持ち寄って開催されたもので、今回で2回目となります。本町からはCMに出演した阿部伊祥ちゃん(6)と阿部喜藏^{いさき きぞう}さん(70)、CMを製作した役場総務課職員の3人が出席し、市町村紹介VTRなどで町の魅力をアピールしました。最後に各市町村へ番組独自の賞が贈られることとなり、本町は「ふるさと豊かな心賞」を受賞しました。

名物料理講習会を開催 地元食材生かす調理法を学ぶ

2月3日、「名物料理講習会」が町中央コミュニティセンターを会場に開かれました。これは、山田の魅力発信実行委員会(阿部幸栄^{あべさちえ}会長)が主催する通年事業「三陸山田名物料理開発事業」の一環として行われたもので、同講習会には町内の飲食店や民宿^{みんぱく}経営者など14人が参加。講師に岩手県調理師会の加藤綱男^{かとうつなお}会長を招き、加藤会長が考案した料理の作り方や、食材を生かした調理技術などを学びました。この日作り方を学んだのは、カキやホタテを使った「山田海幸どん」や「ホタテのチーズ味噌焼」、「かき茶漬け」など7品。実行委員会事務局では、このレシピを町内飲食店や民宿などに公開し、町の新しい名物料理として活用したいとしています。



加藤会長=写真左=の指導を熱心に聞く参加者(上写真) / この日作り方を学んだ山田産のカキやホタテを使用した料理

